

【テーマ2】 府民に開かれた議会

めざす方向

様々な媒体を活用して、効果的な議会情報の発信に努めるとともに、議会の透明性を高める取組みなどにより、府民のニーズを捉えた「より開かれた議会」を推進します。

情報発信力の強化

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>

- 議員自ら学校へ出向き、若い世代に政治への関心を高めてもらふことを目的に実施している「大阪府議会出前授業」の今後の展開等について、広報委員会での取組みをサポートする。また、府議会だよりの題字を高校生の書作品とすることを検討する。
- 広報紙やテレビなどのマスメディアに加え、手軽で広く利用されてきている ICT（ホームページ、SNS）等も活用して、効果的に議会情報を発信する。
 - ・大阪府議会ホームページの改善・充実によるアクセス数向上に向けたさらなる取組み
 - ・府議会公式フェイスブックによるビジュアルかつタイムリーな情報発信（ツイッターでの情報発信の検討を含む）
 - ・議会広報テレビ番組の放映
 - ・キッズ大阪府議会の実施

（スケジュール）

- 6月：広報委員会において、議会広報事業計画の策定
- 8月：議会広報テレビ番組選定委員会の開催
- 1月～：議会広報テレビ番組の放映

<何をどのような状態にするか（目標）>

◇活動指標（アウトプット）

- ▶ これまでの実施状況を踏まえ、今後の出前授業の展開等について、広報委員会での取組みをサポートする。
- ▶ 幅広い年齢層の府議会活動への関心を高めるよう、議会広報テレビ番組やフェイスブック、キッズ大阪府議会の開催等を通じて情報発信する。
- ▶ ホームページにおいて、議会活動をより分かりやすく、かつ必要な情報を迅速に提供できるよう取り組む。

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ▶ 出前授業について、広報委員会での協議結果に基づき事業を実施し、府議会活動への理解や政治への関心の向上につなげる。
- ▶ ホームページやフェイスブック等各媒体の特性を活かしながら、府民にわかりやすく、タイムリーな情報発信を行うことで、議会活動の認知度向上を図る。

（数値目標）

- ・議会広報テレビ：視聴者アンケートで「府議会への親しみ・関心が高まった」との回答7割以上
- ・キッズ大阪府議会：アンケートで「参加してよかった」との回答9割以上

<進捗状況（R2.3月末時点）>

- 出前授業について、平成30年度の実施結果（アンケート等）を踏まえ、広報委員会で協議し、引き続き実施することとなり、府立高校、府立支援学校及び私立高校で実施した。
 - * 計3校実施（参加者は計403名）
- 府議会だよりの題字を高校生等の書作品とすることが広報委員会で決定され、教育庁と調整し、令和2年1月号と4月号で導入した。
- 府議会HPにおいて、府議会に関する様々な情報を掲載。2月定例会では、新型コロナウイルス感染症対応として「傍聴に関するお知らせ」をトピックスに掲載するなど、状況に応じ情報発信を行った。
- 府議会公式ツイッターは、広報委員会での導入が決定され、12月に開設した。府議会公式フェイスブックとリンクし、写真等を活用したタイムリーな情報発信に努めた。
- 議会広報テレビ番組の放映
 - レギュラー番組（R2.1～3、全13回）、特別番組（R2.2、54分番組放送）、メディアミックス(JCOM及びYouTube利用)により視聴者層の拡大を図った。アンケート（事業者実施）で番組を見て、「関心を持ったり、府議会HPを閲覧するなど何らかし行動に移した（予定含む）」との回答がレギュラー番組97.5%、特別番組99.0%（全年代平均）
- キッズ大阪府議会の実施
 - 実施数10校、509名。アンケートで「参加してよかつ

た」との回答 95.9%

「より開かれた議会」のための環境づくり

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（R2.3月末時点）>
<p>■ 府民にとってより身近な議会となるよう、議会活動や傍聴に関する情報を効果的に発信するとともに、引き続き傍聴しやすい環境づくりを進める。</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 傍聴に関してこれまで導入した設備や制度を運用し、引き続き、傍聴しやすい環境づくりに努める。▶ 議場に出向かなくても議会活動を知ることができるよう府政だよりや ICT を活用してインターネット中継・録画の周知を図る。 <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 府民に傍聴・視聴していただける機会を増やすことにより、議会への関心を高める。	<ul style="list-style-type: none">○ F B やメルマガ、府議会だより等で積極的に情報発信を行うとともに、委員会室のレイアウト図や写真を H P へ掲載するなど直接傍聴に関する情報を充実した。○ 府民にとってより身近な議会を目指し、今年度は、傍聴受付時に耳の不自由な方々と円滑にコミュニケーションがとれるよう本会議及び委員会の傍聴受付に筆談ボードを設置するとともに、議会だよりや府議会ホームページを活用して、傍聴に係るバリアフリー化の取組みに関する情報を発信した。 【令和元年度傍聴者数】<ul style="list-style-type: none">・本会議 585 名・委員会 52 名（テレビ傍聴含む）

政務活動費の適正な執行と透明性の確保

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（R2.3月末時点）>
<p>■ 政務活動費の厳正な取扱いの徹底が図られるよう、政務活動費の用途基準や政務活動費検査等協議会の議事要旨等を全会派及び議員に周知・共有するとともに、政務活動費検査等協議会での議論などを踏まえ、継続的な制度の点検・改善をサポートする。</p> <p>■ 収支報告書や領収書等のインターネット公開について、条例等で定める期限内に公開を実施する。</p> <p>■ 確認業務を行う担当者間において留意事項の徹底を図るとともに、ノウハウを共有することにより、事務局のチェック</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 全会派・議員への用途基準や制度改正点、検査等協議会の議事要旨の周知・共有▶ 検査等協議会での議論を踏まえた継続的な制度の点検▶ 収支報告書類のインターネット公開の実施 <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 政務活動費の厳正な執行を保持するとともに、収支報告書等のインターネット公開等により透明性の向上を図	<ul style="list-style-type: none">○ 政務活動費の厳正な取扱いが図られるよう、用途基準や制度改正等の留意点、政務活動費検査等協議会の結果や協議要旨を全会派及び議員に周知・共有した。○ 透明性の向上を図るため、収支報告書等の閲覧・インターネット公開を実施した。

機能の強化を図る。

(スケジュール)

閲覧開始日（7月8日）の翌日から30日以内に、
大阪府議会ホームページに公開

る。

